

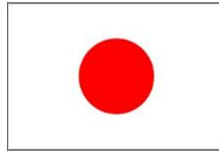


2021年には創立15周年を迎えることができました
SEEDS Asiaスタッフ一同 皆さまのご支援ご協力に心より御礼申し上げます

本号の記事

- 日本 :
 - ▼アジア5か国10校の子どもたちが大集合！「マイ・ホームタウン 子ども会合」の開催
 - ▼及川幸彦理事による放送大学講座「SDGsと教育」に事務局長もゲスト出演
 - ▼トライやるウィークで神戸市立横尾中学生が国際交流体験
 - ▼京都東ロータリークラブ主催による例会と国際奉仕フォーラムでの講演
 - ▼長野「まちづくりんごの木」とまちの人材バンク「長沼のりんごっちゃん」
- **フィリピン** : [台風22号 ライ（現地名オデット）被災地の状況とご協力のお願い【緊急支援】](#)

- ミャンマー：現地情勢と活動状況、子どもたちの教育継続に向けたご協力をお願い
- バングラ：モデル校でのビデオ作成委員会の開催、防災啓発ビデオの制作開始
- 新スタッフの紹介：長野事業現地担当職員の紹介



日本

▼本部 講師派遣、未災地支援

▼長野 令和元年台風15号・19号で被災した長野市長沼地区の復興まちづくりを支援します。

ジャパンプラットフォーム 休眠預金等活用事業、国内事業（台風15号・19号被災地支援プログラム）



アジア5か国10校の子どもたちが大集合！「マイ・ホームタウン 子ども会合」の開催

12月3日、SEEDS Asiaの事業地の学校にお声がけをし、15周年記念イベントとして「マイ・ホームタウン 子ども会合」をオンライン開催しました。参加校は5つの国（日本、インド、バングラデシュ、フィリピン、ミャンマー）の10校にわたり、それぞれの学校が位置するまちの自慢と災害への備えについて英語で発表しました。

気候変動という地球共通の課題を抱え、これからその対応を迫られる子どもにとって「守りたいまちを知る」と「世界の他の地域の人と交流し、お互い思いやる心を持つ」ということは、地球市民としての最初の歩みだと言えます。

参列したSEEDS Asiaテクニカルアドバイザーの岸田蘭子教育専門家からは「お互いのまちのことを知り、相手の暮らしを想像し、協力し合えることを考えることは、私たち人類にとってとても重要なこと」とのメッセージを頂きました。

例えば東日本大震災で被災した地域の学校は「被災時にあなたの国からこんな支援を頂きました」と感謝のメッセージを込めてくれたり、長野市長沼地区の学校は「ふるさとで一番美味しい食べ物」としてりんごをカメラの前で見せてくれたり、鳥羽市立鳥羽小学校はカメラの前で地元名産のお菓子を食べて美味しさを表現してくれたり...それぞれの学校が特色ある発表をしてくれました。

また、日本以外の学校からの参加者はこれまでのSEEDS Asiaとの関わりについて「トレーニングをしていたのでコロナ禍でも授業が続けられるようになった」、「気候災害への対応の仕方がわかった」などの嬉しい報告をしてくれました。

英語の習熟度の違いもありましたが、それくらいの違いは大した問題ではありません。今回のイベント参加者が世界中に友達を作って、共にこれからの地球を生きるということに少しでも貢献できたなら幸いです。

最後に、難しい挑戦だったにも関わらず、快くご準備の上ご参加下さった学校の先生方に感謝致します。

尚、公開許可を頂いております一部学校の発表内容は以下のリンクにてご覧頂けます
([開会セッション](#)、[バングラデシュ](#)、[インド1](#)、[インド2](#)、[ミャンマー](#)、日本(鳥羽市立鳥羽小学校))。また、本イベントにご参加頂いた長野市立長沼小学校においては、マスコミ各社から取材があり、当日の様子が信越放送(SBC)、長野ケーブルテレビ、[信濃毎日新聞社](#)にて放送・掲載されました。

及川幸彦理事による放送大学講座「SDGsと教育」に事務局長もゲスト出演

10月29日、SEEDS Asiaの理事である及川幸彦先生(東京大学大学院教育学研究科附属海洋教育センター主幹研究員)が担当する放送大学での講義「SDGsと教育」の講座「第11回目: 防災・減災の視点からのSDGsと教育」において、事務局長の大津山光子がゲスト出演する機会を頂きました。

災害は命、財産、生業など、文化を含めた地域の資源を奪い、社会の持続性を阻害します。そのため、気候危機への対応を含めた災害リスクの軽減は、持続可能な社会の実現には切っても切り離せない関係にあります。講義では、日本を含めたアジアにおける減災教育と復興支援の活動を紹介しながら、持続可能な社会の実現に向けた取り組みの在り方について、理事の及川先生との対談形式の講義として収録されました。

来年度以降、オンライン講義として開講される予定です。この講義が、アジアにおける社会の脆弱性と国際的な支援の必要性が伝わる機会となれば幸いです。

貴重な機会を頂きましたことを関係者の皆様に改めて感謝申し上げます。



京都東ロータリークラブ主催による例会と国際奉仕フォーラムでの講演

11月12日、京都東ロータリークラブ例会と、同クラブ主催の国際奉仕フォーラムにて事務局長の大津山光子が卓話と講演の機会を頂きました。

例会での卓話では「仙台防災枠組みと日本の現実 ―令和元年東日本台風の被災地から見えること―」を題として、気候危機の中で防災は選択（Choice）ではなく、もはや避けられないもの（Must）となっており、そして仙台防災枠組みで掲げられたよりよい復興（Build Back Better）は過去の事例と同じような形で進むことが困難な時代になっていることを紹介し、より主体的で世代横断的な取り組みが必要であることを紹介しました。

例会に続き開催された同クラブ主催の国際奉仕フォーラムでは、「コロナ禍×政情不安のミャンマー」と題し、複数の災害の渦中にあるミャンマーの状況をご説明しました。計画していた国際共同事業の実施が現在困難であること、一方、今必要になっている児童の教育継続支援についてご紹介し、クラブ会員の皆様からのご提案とご協力を呼びかけました。

ミャンマーで展開してきた防災教育・災害管理ツールとしての気象観測機器・百葉箱の供与は同クラブの皆様のご支援で拡大・実施することができておりました。今後も、現地の事情に応じた必要な支援をお届けできることを強く願っております。

*尚、卓話中の写真は撮影された京都東ロータリークラブ会員の高橋正人様にご提供・ご許可頂きました。他写真につきましても、同クラブのご許可を得て掲載いたしております。

「トライやるウィーク」で神戸市立横尾中学校の生徒が国際交流体験

11月10日、兵庫県で実施されている中学生向け職場体験プログラム「トライやるウィーク」の一環として、神戸市須磨区にある神戸市立横尾中学校の生徒8名の皆さんがSEEDS Asiaの本部事務所（於：神戸市東灘区岡本）を訪問しました。

兵庫県内で展開されている「トライやるウィーク」は、阪神淡路大震災とその後の神戸連続児童殺傷事件を経て考案された地域・学校・家庭の連携事業で、生徒が地域のいろんな大人と関わり、職業体験を通じてまちと社会と人生を学ぶ機会として長年実施されてきています。

コロナ禍で、「ウィーク（week）」ではなく90分程度の訪問に限られてしまいましたが、事務局長の大津山よりSEEDS Asiaの活動紹介や職業選択の過程の振り返りを通じて、阪神・淡路大震災のこと、アジアのことを知って頂く機会となりました。最後にはミャンマーのヒンタダ地区の現場とオンラインでつなぎ、少しでも英語で交流体験をしてもらいました。

一つの体験、一つの言葉、一冊の本、一人の出会いが人生を変えることがあります。今日の体験を経て、今まで聞き過ぎていた災害のニュースや海外のニュースにも関心が高まるようになるかもしれません。この出会いと体験が未来に向けたアンテナを増やす機会になっていればと強く願ってやみません。

令和元年東日本台風被災地支援 長沼の「まちづくりんごの木」と、まちの人材バンク「りんごっしゃん」

長沼地区自治協議会と復興対策企画委員会のコミュニティ検討会の方々と取り組んできたりんご型カードの意見集約ツール「復興まちづくりんご」が、多くの方々の協力を得て「長沼の復興まちづくりんごの木」として完成しました（写真右）。

この結果を踏まえ、「地区にいる様々な分野で能力に長けている方に、習い事をしたい人が教わることで、世代を超えた交流を進めたい」、「多世代交流を通じて学び合い、助け合えるまち」という姿が地域のコミュニティ検討会のメンバーの言葉から浮かび上がってきました。

こうした声を契機に、歴史、文化、芸術、スポーツ、ものづくり、料理等々、様々な分野の「ごっしゃん（北信地方を発祥とする師匠や先生を意味する言葉）」と、習い事がしたいという住民の相互をマッチングする人材バンク「長沼りんごっしゃん」を創設しよう！ということになりました。信州りんごの発祥地であること、「隣＝りん」の意味を兼ねて「りんごっしゃん」と名付けることとなりました。



フィリピン

▼台風22号 ライ（現地名オデット）による被災児童・生徒の教育機会の確保に向けた支援を開始します。

被災地への緊急支援



台風22号 ライ（オデット）による被災校への緊急支援のお願い

台風ライ（現地名オデット）は2021年12月16日午後フィリピン中部に上陸し、SEEDS Asiaが事業地として関わってきたセブ州並びに周辺の島々を襲いました。死者数は全国で177名（12月22日時点）に及び、強風や高潮により多くの校舎や学校施設への甚大な被害が次々と報告されています。

フィリピンでは新型コロナの感染拡大を受け、2年近く学校を閉鎖していましたが、2022年早々に2年ぶりの対面授業を開始する準備を進めてきました。しかし今回の被災により、学校での教育機会の継続が困難な状況となっています。こうしたことから、SEEDS Asiaはセブ州にある学校の早期の回復と教育の再開に向けた支援を開始します。皆様の温かいご支援、ご協力をお願いいたします。

支援の内容：

被災児童生徒の文具、制服購入費、オンライン授業用通信費、避難先からの通学費など

アピールのチラシは[こちら](#)からご覧いただけます。皆さまからの温かいご支援をお待ちしております。



ミャンマー

▼教育と防災の拠点となる学校建設から地域の防災力向上まで、ハードとソフトを合わせた包括的な防災を推進しています。

外務省 日本NGO連携無償資金協力事業

▼複合的リスクの中にある児童の教育機会の確保に向けた支援を開始します。

被災地への緊急支援

ミャンマー情勢と活動状況と児童の教育継続支援のお願い

2月1日以降、国内でも報道されているミャンマーにおける非常事態にあたり、お問い合わせやご心配を頂き有難うございます。建設中の学校兼シェルターについては、少しずつですが建設を進め、研修もオンラインを駆使しながら進めております。

昨今の国の事情に鑑み、スタッフを含め個人の安全を優先し、ニュースレターで活動写真と詳細のご報告ができない状況が続いております。コロナ禍と長期に亘る政情不安の中、危機に晒され多様な機会を失っているミャンマーの方々に、少しでも心を寄せて頂ければ幸いです。

特に、ミャンマーでは約2年間にわたり学校が閉鎖されていました。治安や経済状況の悪化が重なり、文房具や教材の不足、制服の購入も困難となっており、授業への興味・関心を失うなど、子どもたちが初等教育を諦めなければならない状況が報告されています。そこで、SEEDS Asiaではミャンマーの子どもたちの教育継続機会を確保するためのご支援を継続して募集しております。

現地の状況につきましては、教育継続への直接的なご支援を頂いている方に直接ご報告させていただき、他、お問い合わせに応じて個別に回答いたします。今後もあたたかいご理解・ご協力を何卒よろしくお願い申し上げます。



バングラデシュ

学校を拠点としたコミュニティの防災力向上と全市的な意識啓発を目指します。

外務省 日本NGO連携無償資金協力事業



雨水タンクシステムが 完成しました！

北ダッカ市のラルマティア校で建設を進めてきた雨水タンクシステムが完成しました。

市内の側溝が十分に整備されておらず降水の際には浸水してしまうこと、地下水の過剰なくみ上げで市内の地盤沈下が進んでいること、細街路が多いために、火災時に消防車の乗り入れが困難であることから、雨水タンクシステムを活用した消化設備の整備が必要とされていました。また、雨水タンクの活用は気候危機への備えとしても国内外で注目されています。

建設作業は、学校や建設会社と密に連絡を取りながら、利用者となる児童・生徒・教員の安全と利便性を第一に考えながら丁寧に進めてきました。

雨水タンクシステムは、校舎の屋根から雨水を収集、処理をして消火に活用することにより、火災のリスクを軽減することを目的としていますが、手洗い場も整備され、非常時の水源として利用されるほか、普段は児童生徒の衛生管理に役立てられます。

防災啓発ビデオの制作をすすめています

ダッカ市内の児童生徒向けの防災ビデオ制作が着々と進んでいます。

ビデオは、火災、大気汚染、感染症、気象災害の4つをテーマとしています。4人のメインキャラクターが災害について調べ、専門家に話を聞きに出かけ、リスク軽減のための行動を実行するというシナリオです。

専門家役は、プロの役者ではなく、現役の消防隊員、大学教授、気象局職員、医師など SEEDS Asiaがこれまで関わってきた方々にお願いしました。撮影のためにそれぞれオフィス

開放してくださるなど、子どもたちと市民の防災啓発のために、と快く協力してくださいました。

撮影は無事終了し、現在編集作業を行っています。完成が楽しみです！



新スタッフの紹介：長野事業現地担当職員

皆さまこんにちは。

11月1日より、長野市穂保の長野事務所駐在員として勤務しております、松原秀司（まつばら ひでじ）と申します。1961年7月生まれの獅子座60歳です。

東京都内の大学を卒業した後、長野市内のカーディーラーに27年間勤務し、50歳を迎えた年に、長野市内の靴を専門に扱う会社に転職しました。

令和元年10月、台風19号の猛威に襲われ、自宅から200メートルほどの堤防が決壊し、自宅は全壊しました。

全国からお集まり頂いた多くのボランティアの方々にご支援頂き、奇跡的に基礎と主だった柱が残った自宅を修復する覚悟を決め、町の役員業務と会社の仕事、自宅修復に関わりながら毎日を慌ただしく過ごしている中、当団体と出会いました。

団体の考え方に感銘を受け、「こういう仕事、してみたい！」と思い始めた矢先、長野事務所で職員を募集していることを知り、応募させて頂き、現在に至っております。

これから、どっぷりと長沼地区の復興に関わってまいります。私なりに精一杯励んでまいりますので、何卒よろしくお願い申し上げます。

尚、入職後、同じく豪雨災害の被災地である兵庫県佐用町、丹波市を訪問させていただきました。現地でお世話になった佐用町平福の春名様、久保様、加藤様、そして丹波市市島町のぼんぼりの皆様に改めて感謝申し上げます。研修を通じ、本音で議論できる「場」をつくり、真の「ワンチーム」で復興に向かっていけたらと、今回の研修を通じて強く感じた次第です。

バックナンバーを読む

アジアの防災・被災地の復興を応援しませんか

SEEDS Asiaの活動は、皆さまからのご支援によって成り立っています。
寄付金は、SEEDS Asiaの活動全般へのご支援として、アジア各地での環境・防災、被災地の復興に向けた活動に活用させていただきます。

**尚、弊団体は認定NPO 法人格の交付を受けており、個人・法人からでも
ご寄付額に応じて税法上の優遇措置（税額控除対象）を受けることができます。
皆さまからのあたたかいご支援・ご協力をお願いいたします。**

▼緊急支援に賛同する

銀行振り込みの他、クレジットカードによるオンライン決済、携帯電話料金との同時引き落としも可能です。ご不明な点等ございましたら、お気軽にお問い合わせください。

銀行振込

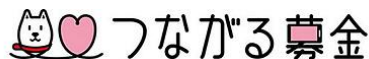
三井住友銀行 岡本支店
口座番号：普通 0571188
口座名義：特定非営利活動法人SEEDS Asia

郵便振込

口座番号：00960-7-207240
口座名義：特定非営利活動法人 SEEDS Asia<トクヒ> シーズ アジア>

オンライン決済

下記のロゴをクリックしていただくか、こちらの日本財団による[CANPAN](#)（オンライン決済のページ）、あるいは[ソフトバンクのサイト](#)にてお願いいたします。
決済システム上、領収書（税額控除対象証明書）の発行がご寄付から約1か月後となりますこと何卒ご了承ください。



賛助会員・インターン・ボランティア・ を募集しています！

▼賛助会員になる

SEEDS Asiaは賛助会員(一口3,000円)を募集しております。毎月のニュースレターの他、SEEDS Asiaが主催する様々なイベントへのご案内や特典、実施国の情報等を受け取ることができます。

▼正会員になる

防災支援に関わる技術や専門性、活動を通じた支援が可能な方は正会員(一口10,000円)となっただき、緊急支援調査チームや防災啓発イベントの運営をお手伝いください。

▼イベントに参加する・講演会の実施

国内においても、防災キャンプや講演会、啓発イベントなど災害に負けない人づくりの支援を実施しています。講師派遣も行っておりますので、ご検討頂ける方は rep@seedsasia.org までご連絡ください。 [過去のイベントはこちら](#)

▼インターンになる

国際協力や環境問題の改善、防災教育に興味があり、活動を共に支えてくださる方々を歓迎しております。是非ご連絡をお願いします！

▼ボランティアをする

イベント活動や翻訳などのお手伝いをしていただける方を募集しております。SEEDS Asiaに興味を持っていた方、環境問題や自然災害・防災教育などに興味を持たれている方は、是非ボランティア登録を行ってください。翻訳が必要になった時やイベントの実施に合わせて随時事務局からご連絡いたします。



ニュースレターは会員の皆様の他、関係者の皆様、スタッフと交流させていただいた皆様にお送りしております。ご変更の場合は、お手数ですが本メールまでご返信ください。

認定NPO SEEDS Asia 日本658-0072 兵庫県神戸市東灘区岡本1-7-7-307 TEL 0787669412

[配信解除](#) [配信設定を変更](#)

今すぐ無料でEメールを送信

HubSpot